

# KENYA



## アフリカ農水産品・ 食品関連（機械含む） 現地ニーズレポート

経済産業省

令和2年度技術協力活用型・

新興国市場開拓事業補助金

（社会課題解決型国際共同開発事業

（製品・サービス開発等支援事業）

アイ・シー・ネット株式会社



# CONTENTS

トマト産業	04	概況・特徴
	06	業界構造
	11	市場規模
	12	ニーズが見込まれる製品・サービス
	15	パートナーとすべき現地企業の特徴
	16	参入事例
乳業	20	概況・特徴
	21	業界構造
	24	市場規模
	25	ニーズが見込まれる製品・サービス
	26	パートナーとすべき現地企業の特徴
ティラピア産業	29	概況・特徴
	31	業界構造
	35	市場規模
	36	ニーズが見込まれる製品・サービス
	41	パートナーとすべき現地企業の特徴
	43	参入事例

トマト産業

1



## 概況・特徴(耕種セクター)

- ケニアにおける農林業は産業別GDPの構成比の34.2%、労働人口の2/3以上、輸出収入の70%以上を占めるケニアの経済にとって重要なセクターである。市場向け農業生産の75%以上を担うのは小規模農家であり、活気ある産業としての農業振興のために重要なセクターである。
- 主な主要輸出品目は、コーヒー、紅茶、スパイスであり、輸出全体の26.7%を占める。主な栽培作物は、トウモロコシ、豆類、さとうきびである。

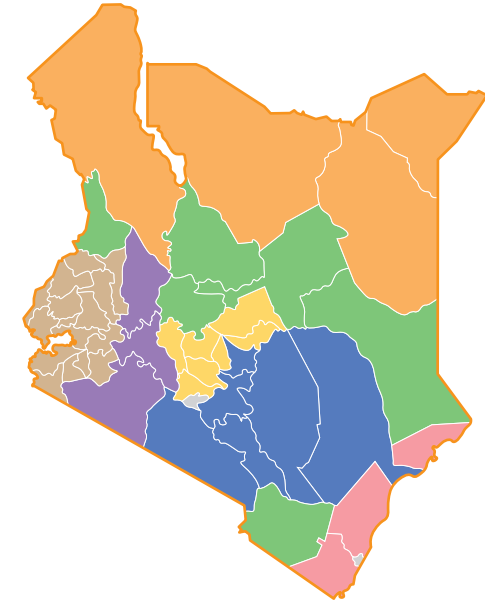




## 概況・特徴(耕種セクター)

- ケニア経済の全体的な成長は、農業部門のパフォーマンスと非常に相関しており、長年にわたって、平均0.2~3.0ヘクタールの土地を持つ小規模所有者が、このセクターの生産セグメントに対して主要な役割を担っている。
- 総農業生産高の75%が国内で生産されており、市場に出ている農産物の内、トウモロコシの70%、コーヒーの65%、紅茶の50%、牛乳の80%、魚の85%、牛肉と関連製品の70%が国内で生産されている。
- 国際労働機関(ILO)の推定では、ケニアの総雇用人口の約2,800万人の約62%が、農業に関連する農民やその他の農外雇用(農業関連事業など)を含む農業から収入を得ている。

## 農業生産マップ(推定農家数)



- |   |  |
|---|--|
| <p>■ 北部地域(400万人):<br/>牧畜民が多く、ラクダ飼育が盛ん。</p>  | <p>■ 西部地域(1,600万人):<br/>人口密度が高く、<br/>主食と換金作物栽培が混在。</p> |
| <p>■ 北中央部地域(300万人):<br/>牧畜民が多く、ウシ飼育が盛ん。</p> | <p>■ リフトバレー地域(400万人):<br/>主食・換金作物栽培、家畜。</p>            |
| <p>■ 沿岸部地域(300万人):<br/>主食と換金作物栽培が混在。</p>    | <p>■ 中央地域(1,000万人):<br/>換金作物栽培が中心。</p>                 |
| <p>■ 半乾燥高原地域(500万人):<br/>乾燥作物の栽培が中心。</p>    |  |

(出所)Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries「Agriculture Sector Transformation and Growth strategies.」2019.



## 業界構造(耕種セクター)

- ケニアにおける主要作物はサトウキビ、トウモロコシ(メイズ)、じゃがいもであり、2018年の生産量はそれぞれ約526万t、約401万t、約187万tとなっている。
- 耕種作物の収穫量を増大させる大きな可能性を秘めているが、肥料の不適切な使用や、貧弱な機械化体系と収穫後の損失量の多さ等の理由により十分な収益をあげられていないのが現状である。

		収穫面積 (ha)	単収 (hg/ha)	生産量 (tones)	
耕種	青果・園芸 (花き含)	じゃがいも	217,315	86,067	1,870,375
		バナナ	72,748	194,393	1,414,176
		キャッサバ	61,592	153,604	946,076
		サツマイモ	64,301	135,459	871,010
		マンゴー類	50,737	152,793	775,230
		キャベツなどの葉野菜	22,672	297,392	674,253
		トマト	28,263	212,103	599,458
	穀物・豆類 (油糧含)	トウモロコシ	2,141,743	18,741	4,013,777
		小麦	133,147	25,280	336,600
		コメ	25,966	42,489	110,325
		乾燥マメ	1,170,173	6,546	765,977
	換金作物	サトウキビ	73,065	720,202	5,262,157
		お茶	236,200	20,872	492,990
		コーヒー豆	115,570	3,580	41,375

(出所)FAO STAT, 2018



## 業界構造(トマト産業)

- トマトは、ケニアで最も生産・消費量の多い野菜の一つである。
- 零細農家にとって重要な換金作物となっており、主に露地栽培だが、最近ではハウス栽培が人気を集めてきている。
- ビタミンA、C、リコピンを豊富に含んでおり、サラダに加えたり、野菜として調理したり、トマトペースト、ジャム、ソース、ピューレ、ジュースなどに加工して食べている。

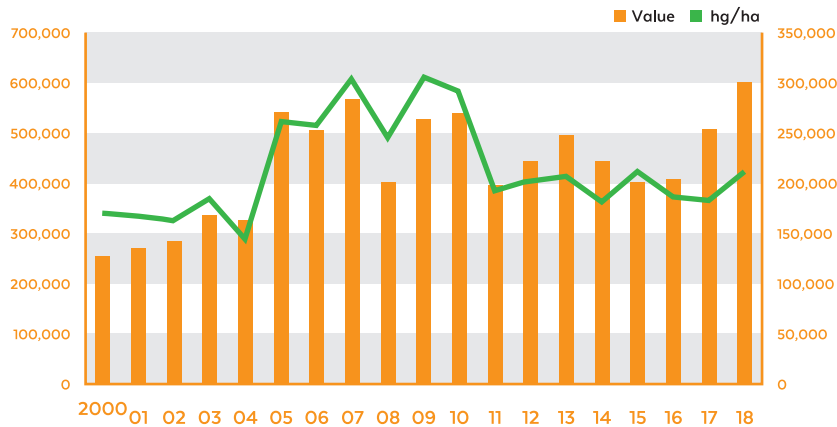
主要な品種	特徴
Rio Grande	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新鮮な市場から加工用まで使用用途が多様</li> <li>・ 植物はやや多肉質で、杭を打っても打たなくても栽培可能。</li> <li>・ パーティシリウム属菌・つる割病に耐性あり。</li> <li>・ 収穫までの期間:移植後75日~85日</li> <li>・ 収穫量:1エーカーあたり18,000kg</li> </ul>
Assila F1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期熟成(75日)の品種</li> <li>・ トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)と線虫に対する耐性あり。</li> <li>・ 楕円形で魅力的な赤い色、深く甘い果実であることが特徴</li> <li>・ 収穫量:1エーカーあたり23,000kg</li> <li>・ 良好な保存品質と輸送性</li> </ul>
Kilele F1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中早生・確定型</li> <li>・ 乾燥した場所や湿度の高い場所に適している。</li> <li>・ トマト黄化葉巻ウイルス、トマト モザイク病、パーティシリウム属菌、つる割病及び線虫などに耐性あり。</li> <li>・ 賞味期限が21日</li> <li>・ 収穫までの期間:移植後75日</li> <li>・ 収穫量:1エーカーあたり30,000~35,000kg</li> </ul>
Anna F1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮市場向けの交配品種</li> <li>・ 濃淡のむらのある楕円形の赤い実をつけ、賞味期限が長い。</li> <li>・ パーティシリウム属菌、つる割病、Alternaria Stem Canker、線虫に対する耐性あり。</li> <li>・ 収穫までの期間:移植後75日</li> <li>・ 収穫量:64,000kg</li> </ul>



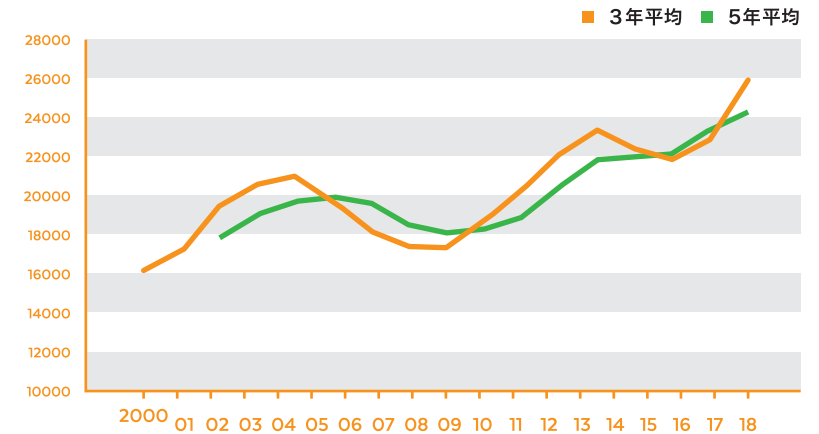
## 業界構造(トマト産業)

- トマト等の一部の野菜栽培では、若手の生産者らが中心となって、施設栽培の導入が急速に拡大している。施設栽培のシェアはトマトで5%程度とまだ低いが、政府の2020年までの重点分野となっており、今後の拡大が期待されている。
- 生産面積は年によってばらつきはあるがおおむね上昇傾向にある。生産面積の増加に対して、生産量の伸びが弱い。効率性に課題がある可能性がある。

トマト生産量の推移



トマト生産敷地面積の推移



(出所)FAO STAT



## 業界構造(トマト産業)

### 市場価格

KSh per Kg

CROP	2015		2016		2017		2018		2019	
	Mar	Sept	Mar	Sept	Mar	Sept	Mar	Sept	Mar	Sept
Maize	33.19	33.77	33.92	35.10	48.02	43.86	41.32	30.87	31.89	41.49
Beans	77.56	77.08	76.74	74.36	93.96	87.46	88.10	70.86	77.01	81.57
Finger Millet	83.71	88.86	84.03	84.62	108.59	105.20	107.69	89.73	92.54	86.54
Sorghum	55.51	53.60	54.36	52.58	72.65	64.85	73.41	54.68	64.37	61.89
Potatoes	34.46	34.11	39.56	38.91	55.96	30.67	41.54	55.51	43.35	67.88
Cabbages	38.86	22.17	25.71	31.73	37.54	29.79	32.87	26.28	20.73	25.43
<b>Tomatoes</b>	<b>68.09</b>	<b>55.03</b>	<b>70.23</b>	<b>52.60</b>	<b>73.84</b>	<b>79.82</b>	<b>65.29</b>	<b>63.76</b>	<b>77.20</b>	<b>70.11</b>
Bananas	37.26	37.46	37.36	41.82	49.18	50.68	45.57	50.81	45.08	48.72

- 市場価格はおおむね安定しており、若干の上昇傾向が見える。2015年の平均市場価格は61.56Ksh/kgであったが、2019年は73.66Ksh/kgとなっている。
- ロス率は17億3000万トンと高く、約1億7000万tを毎年輸入している。

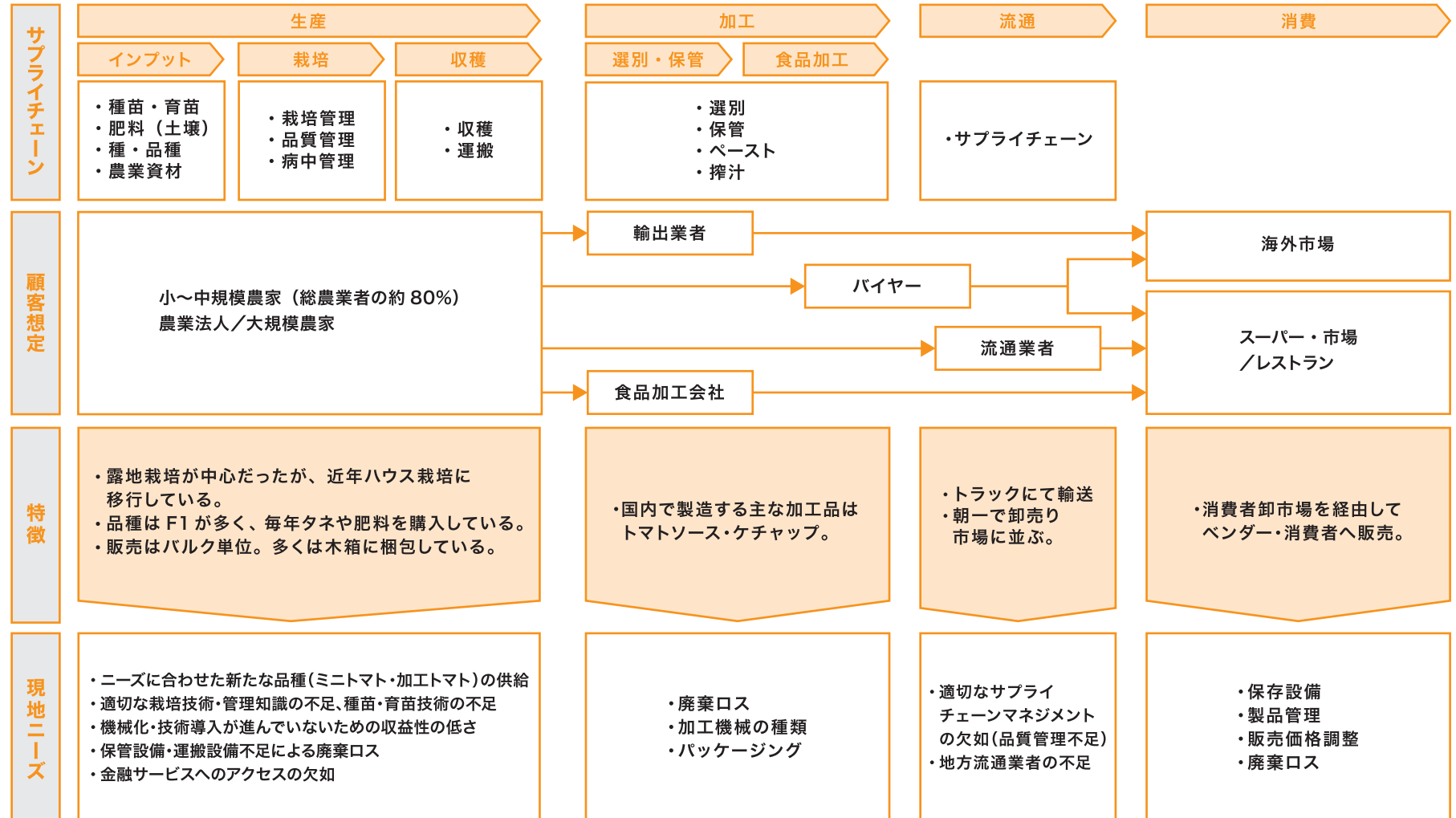
### FOOD BALANCE SHEET 2019 Population('000): 47,564

Products	DOMESTIC SUPPLY (100MT)					DOMESTIC UTILIZATION (100MT)						PER CAPUT SUPPLY			
	Prod.	Imports	Exports	Stock change	Total D.S	Processed	Loss	Feed	Seed	Other Uses	Food	PER YEAR FOOD	PER DAY		
													Calories	Proteins	Fats
1000 Metric Tons											Kg.	units	grams	grams	
Vegetables	2785	23	112	13	2683	0	315	0	0	144	2224	47	28	1	0
<b>Tomatoes and product</b>	<b>541</b>	<b>17</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>554</b>	<b>0</b>	<b>130</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>28</b>	<b>395</b>	<b>8.3</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
Onions, Dry	43	1	0	0	43	0	9	0	0	2	32	0.7	1	0	0
Vegetables, Other & Prod.	2202	5	108	13	2086	0	176	0	0	144	1796	37.8	23	1	0

(出所) Economic Survey 2020



## 業界構造(バリューチェーン)





## 市場規模

### 生鮮野菜の市場規模

**2,110億円** (2015)

- スーパー、レストランなど顧客層は、現地の中間・富裕層や駐在外国人、観光客である。ケニア国内における中・高所得層及び観光客数は年々増加している。
- これらの顧客層は、特に新鮮な園芸作物を好む傾向にあり、ケニア国内の園芸作物市場規模は、2014年の約1,960億円から2015年には2,110億円と、着実に成長している。

### トマトの市場規模

**390億円** (2019)

- 市場小売価格は65~77Ksh/kgとおおむね安定しており、若干の上昇傾向が見える。
- 一人当たりの消費量は2017年6.0kgから2018年8.5kgと前年比41.7%で増加しており、これは他作物と比べても伸びが大きい。今後の消費が高まっていくことが期待される。



## ニーズが見込まれる製品・サービス(栽培)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培環境に適した品種</li> <li>・消費者ニーズにあった(甘味・色見・大きさなど)品種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家/資材販売会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場が多様化していく中で様々な消費者ニーズに合わせた新たな品種の供給が求められている。</li> <li>・具体的にはミニトマトや色見・甘味が安定した品質高いトマトなどである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中規模以上の農家であれば投資余力はあるが、小規模であれば金融サービスと併せて提供することが重要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農管理・支援サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家(テレフォンファーマー含む)</li> <li>・農業法人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な栽培技術・管理知識が不足しているため、非効率となっている。</li> <li>・種苗・育苗技術の不足へのアクセスの欠如している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料もしくは課金制サービスを導入することで利用の促進が可能である。課金制サービスについては、日単位や利用単位など負担額を少額にしていく工夫が必要である。</li> </ul>



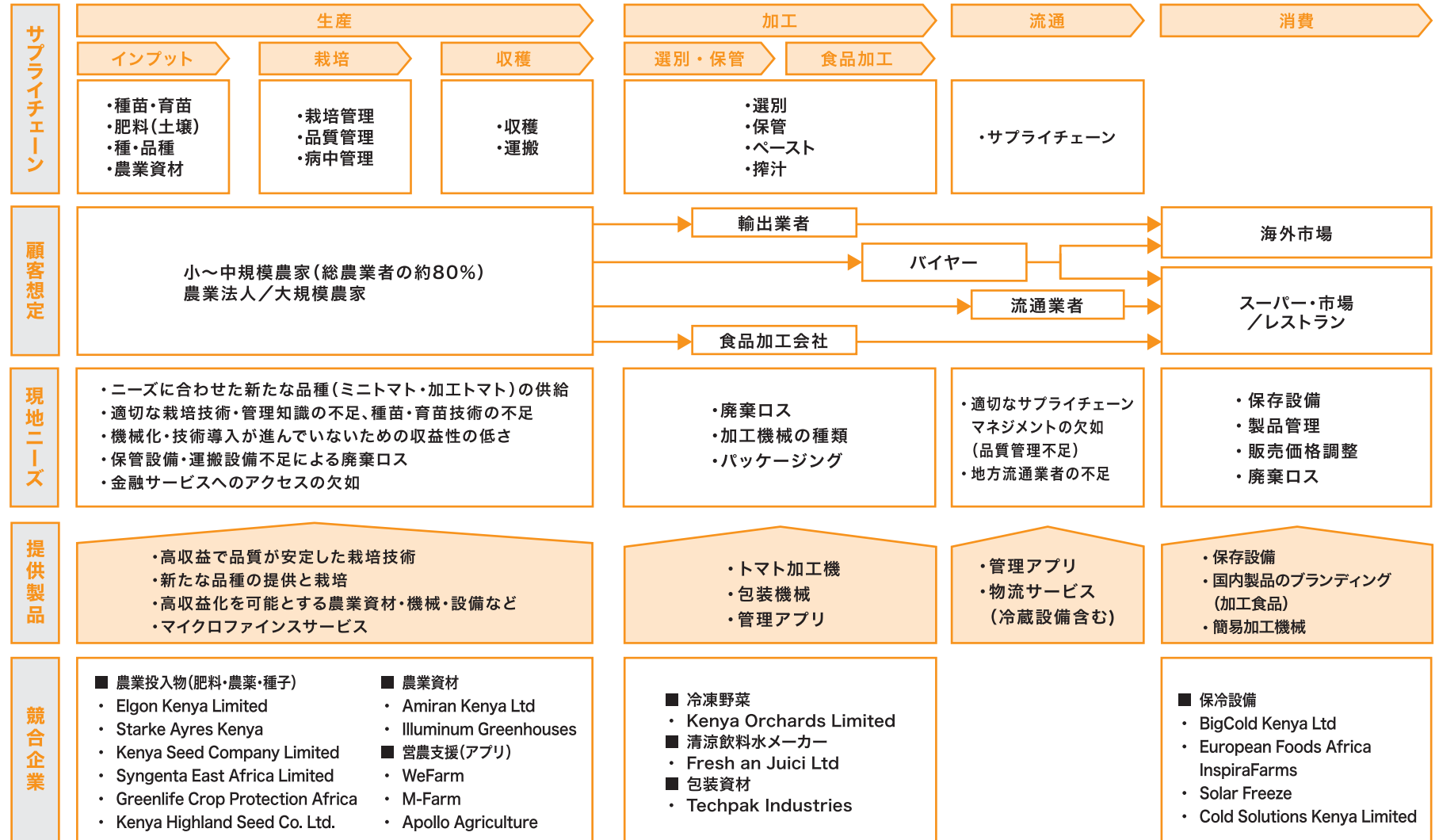


## ニーズが見込まれる製品・サービス(栽培)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業資材</li> <li>・肥料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家</li> <li>・農業者組織</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械化・技術導入が進んでいないための収益性が低い。手作業が多くなり、時間・費用がかかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材は農家単体での購入は難しいケースが多いので、金融サービスと併せて提供。肥料は価格によっては購入可能。農業者組合など複数人での共有購入農可能性は高い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保冷库</li> <li>・保冷輸送設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者組合</li> <li>・農業法人</li> <li>・物流業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管設備が不足しているため、保存期間が短く、廃棄ロスが発生している。</li> <li>・運搬設備・ノウハウが不足しており、運搬中に品質が劣化・腐敗するなど廃棄ロスが発生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額によっては購入可能。特に農業法人など品質向上や廃棄率低減に取り組んでいる企業であればより購買力があると想定される。農業者組合等については、金融サービスと併せて提供することが重要である</li> </ul>



## トマト産業における参入可能性





## パートナーとすべき現地企業の特徴

- 農家への販売する際は、販売ネットワークが重要となる。既に農家へのネットワークを持つ農業資材卸会社や資材メーカーがパートナーとしての可能性が高い。また各地の農業者組合やJICAが実施するSHEP(市場志向型農業振興)プロジェクトとの連携可能性もある。
- また資金の回収リスクの面からも、農家への直販モデルではなく、代理店機能を持つパートナーと組むことが重要である。また金額の高い商品については金融機関と連携してリースでの販売も検討すべきである。

### 主なパートナー候補企業

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイト
IRRICO INTERNATIONAL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農資材の輸入・販売</li> <li>・資材の設置</li> <li>・コンサルテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客に併せたカスタマイズが可能</li> <li>・自社で技術者を抱えている</li> </ul>	農家へのネットワーク/ 金融サービスの提供	Road A, Off Enterprise Road, Industrial Area. P. O. BOX 38974- 00623, NAIROBI, KENYA.
Toyota Tsusho Fertilizer Africa Limited	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥料の輸入・ブランドイング・販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜に合ったオリジナルの肥料を作成</li> <li>・日系企業の関連会社</li> </ul>	地方の農資材店とのネットワーク	Western Kenya, Eldoret
Safaricom (Digi-Farm)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイル決済を用いた農資材の販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地に契約農資材店ネットワークを保有。</li> <li>・農家へのプロモーションなどが可能</li> </ul>	金融サービスの提供 地方の農資材店とのネットワーク	<a href="https://www.safaricom.co.ke/business/digifarm">https://www.safaricom.co.ke/business/digifarm</a>



## 参入事例(進出済み)

会社名	セクター	概要・特徴	進出形態	ウェブサイト
豊田通商	農業投入物	肥料の製造・販売、 農機具の流通	現地法人設立	<a href="https://www.toyota-tsusho.com/">https://www.toyota-tsusho.com/</a>
サカタのタネ	農業投入物	園芸作物の種子の 生産・販売	駐在員事務所を設立	<a href="https://corporate.sakataseed.co.jp/">https://corporate.sakataseed.co.jp/</a>
住友商事	農業投入物	切り花(バラ)栽培用の 日本製農薬販売	駐在員事務所を設立	<a href="https://www.sumitomocorp.com/ja/jp">https://www.sumitomocorp.com/ja/jp</a>
丸紅	農業投入物	農機具販売	-	<a href="https://www.marubeni.com/jp/">https://www.marubeni.com/jp/</a>
クボタ	農業投入物	農機具販売	現地法人設立	<a href="https://www.kubota.co.jp/">https://www.kubota.co.jp/</a>
三井物産	農業投入物	農薬販売	-	<a href="https://www.mitsui.com/jp/ja/">https://www.mitsui.com/jp/ja/</a>
ヤマハ発動機	農業投入物	灌漑用の発電機販売	-	<a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/">https://global.yamaha-motor.com/jp/</a>
レオン自動機	食品機械	クッキー、パン等の 食品自動成型機販売	-	<a href="https://www.rheon.com/jp/">https://www.rheon.com/jp/</a>

(出所) アフリカビジネスパートナーズ「アフリカビジネスに関わる日本企業リスト2019年版(ABP)」、各企業HP



## 参入事例(調査フェーズ)

会社名	セクター	調査名	計画中の事業概要	調査期間	ウェブサイト
株式会社和郷	農業	小規模園芸農家のグループ 経営力強化事業案件化調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本流の品質管理及び供給・販売体制の導入研修事業</li> <li>高付加価値農作物の現地生産・販売事業</li> </ul>	案件化調査 (中小企業支援型) 2014～2015年	http://www.wagoen.com/
		園芸農家の持続的営農に向けた 高付加価値果菜類の施設園芸ノ ウハウ普及・実証事業		普及・実証・ ビジネス化事業 (中小企業支援型) 2017～2019年	
落合刃物工業株式会社、 株式会社寺田製作所、 企業組合静岡機械製作所 共同企業体		現地茶葉競争力向上支援事業 に関する案件化調査	乗用型摘採機(落合刃物工 業)、荒茶製造ライン(寺田 製作所)、仕上機(静岡機械 製作所)の販売事業	普及・実証・ ビジネス化事業 (中小企業支援型) 2019～2021年	落合刃物工業: http:// www.ochiai-1.co.jp/ index.html 寺田製作所: https:// www.web-terada.jp/ 静岡機械製作所: http:// www.s-kikai.com/
		現地茶葉競争力向上のための 蒸製緑茶生産技術普及・ 実証事業【1.5億円枠】		普及・実証・ ビジネス化事業 (中小企業支援型) 2019～2021年	
ヴェルデナイト株式会社、 株式会社ボーダレス・ ジャパン 共同企業体	小規模農家向けの土壌回復と栽培 指導を通じた大豆の生産性向上と 栄養改善のための案件化調査	人工土壌「ヴェルデナイト」 の販売と、大豆の生産性向 上及び流通促進による栄養 改善	案件化調査 (中小企業支援型) ※契約交渉中	http://www.verde-jp. com/index.html	

(出所) JICA 民間連携事業



## 参入事例(調査フェーズ)

会社名	セクター	調査名	計画中の事業概要	調査期間	ウェブサイト
トミタテクノロジー株式会社	農業	施設園芸での養液栽培を活用した北部回廊の産地化にかかる案件化調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に合わせた最適な生産施設の設計・建設、「養液栽培パッケージ」の開発</li> <li>農家への栽培技術支援、販路開拓を含むワンストップサービスの提供</li> </ul>	案件化調査 (中小企業支援型) 2019~2020年	<a href="http://tomitatechnologies.com/site/index.html">http://tomitatechnologies.com/site/index.html</a>
株式会社りんねしゃ		100%天然素材の蚊取線香の製造バリューチェーン構築による除虫菊産業再興事業にかかる案件化調査	蚊取線香の製造バリューチェーン構築	案件化調査 (中小企業支援型) ※契約交渉中	<a href="http://www.rinnesha.com/">http://www.rinnesha.com/</a>
株式会社アタゴ		糖度計を用いた高付加価値の果実および野菜フードバリューチェーン促進事業案件化調査	糖度計の販売事業	案件化調査 (中小企業支援型) ※契約交渉中	<a href="https://www.atago.net/japanese/new/index.php">https://www.atago.net/japanese/new/index.php</a>
メビオール株式会社		高品質・高栄養価な農作物の安定栽培を可能とするアイメックシステムの導入に向けた案件化調査	フィルム農法「アイメックシステム」の販売事業	案件化調査 (中小企業支援型) ※契約交渉中	<a href="https://www.mebiol.co.jp/">https://www.mebiol.co.jp/</a>
株式会社ライブビジネスウェザー		気象情報を活用した農家の生産性向上のための基礎調査	気象情報の提供事業	基礎調査	<a href="https://www.lbw.co.jp/">https://www.lbw.co.jp/</a>
興和株式会社		養蚕農家の管理体制確立及び養蚕業の再興に関する案件化調査	詳細不明	案件化調査(SDGs型) ※契約交渉中	<a href="https://www.kowa.co.jp/index.htm">https://www.kowa.co.jp/index.htm</a>

(出所)JICA 民間連携事業

# 2

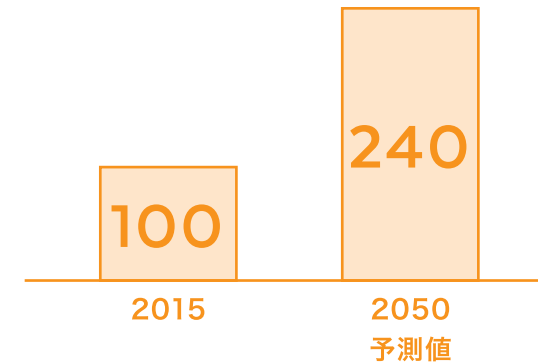
乳業



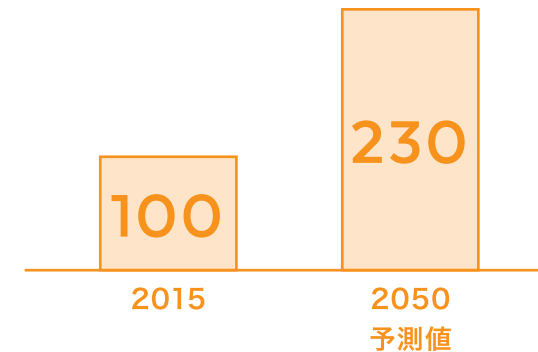
## 概況・特徴(畜産セクター)

- ケニアでは年間約2.6%の人口増加により、今後30年の間に人口が倍増(9,600万人)、2015年~2050年の間で一人当たりGDPが140%増加すると推定されている。畜産においては現状では牛肉と羊肉以外においては自給自足ができてきている状態だが、今後の人口増加に向けた畜産製品供給の確保は重要な課題である。FAOによると2050年までの間に、牛乳・牛肉・鶏肉を含むケニア国内における畜産製品の供給は150%増、780万トンの追加が想定されている。
- ケニアにおける農林水産業は産業別GDPの構成比の32%、このうち19%(国全体GDP比4.4%)を畜産業が占め、農業人口全体の半数の雇用を創出している。農林水産業ではまだまだ個人や小農家の割合が高い。ケニアにおける畜産業は大半が国内消費向けであり、輸出は周辺アフリカ諸国や中東向けのみに限られている。
- 畜産業人口の60%は乾燥・半乾燥地帯に位置し、牛乳と牛肉のための家畜を育てている。降水量の多い地域では酪農、鶏肉、および豚肉の生産を行っている。

鶏肉の増加見込み(%)



牛肉の増加見込み(%)



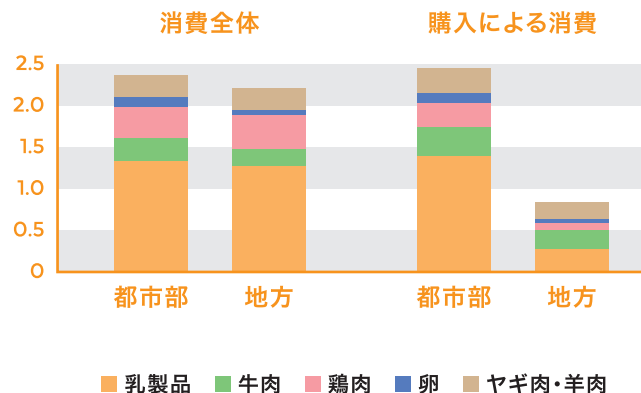




## 業界構造(畜産セクター)

- 今後30年間の間に人口が倍増するといわれているケニアだが、そのうち半数が都市人口になるともいわれている(現在の都市人口は全体の27%)。右図の通り地方人口は主に自給自足、都市人口は購入により畜産製品を消費しているため、今後さらに近代小売店向けの流通商品の生産量を上げていく必要がある。
- ケニアでは牛乳の一人当たりの年間消費量が121リットルと、アフリカ大陸内(平均37リットル)で見ても、世界平均(104リットル)から見ても消費量が多い国となっている。

一週間当たりの畜産物消費量(一人当たり)



		全国家畜所有数 (頭)	年間生産量 (tonnes)	一人当たり 年間消費量	
畜産	肉用牛	牛肉	14,000,000	588,000	11.3kg
	酪農	牛乳	4,500,000	4,100,000,000ℓ	121ℓ
	養鶏	鶏肉	44,600,000	35,000	0.6kg
	鶏卵	卵	(鶏肉の羽数内に含)	167,400,000個	45個
	その他	豚肉		N.A.	25,389
ヤギ肉			26,700,000	37,133	N.A.



## 業界構造(乳業)

- 市場供給の80%を小規模農家(一家あたり1~5頭)が占めており、残り20%のフォーマルセクターにおいては3~5社大手の占有市場となっている。小規模農家が市場供給の70~80%占めていることから、いわゆるインフォーマルセクター(コールドチェーンでなく「ウォームチェーン」と呼ばれている)を軽視することはできない。新鮮さや低価格なのを理由、包装された加工乳よりも、生乳を好む消費者も多い。
- ケニアでは古くから、牛乳と紅茶、スパイスを混ぜた「チャイ」というミルクティーが非常に人気。多くのケニア人が一日に何杯も「チャイ」を飲んでおり、牛乳消費の後押しになっている。
- 乳業はケニア政府が国として力を入れているセクターであるだけでなく、ビジネスも政治家が自ら行っている場合が多く、政界と非常につながりの深いセクターである。
- ケニア人は牛乳の新鮮さに厳しく、今後も引き続き国内生産が主要となってだけでなく、今後需要が増えていく周辺アフリカ諸国への輸出ニーズも増えると想定される。2019年10月に国際酪農連盟(IDF)に加盟。

### 各乳製品生産量および食肉処理量(2015年~2019年)

Table 7.19: Livestock Slaughtered and Dairy Products, 2015-2019

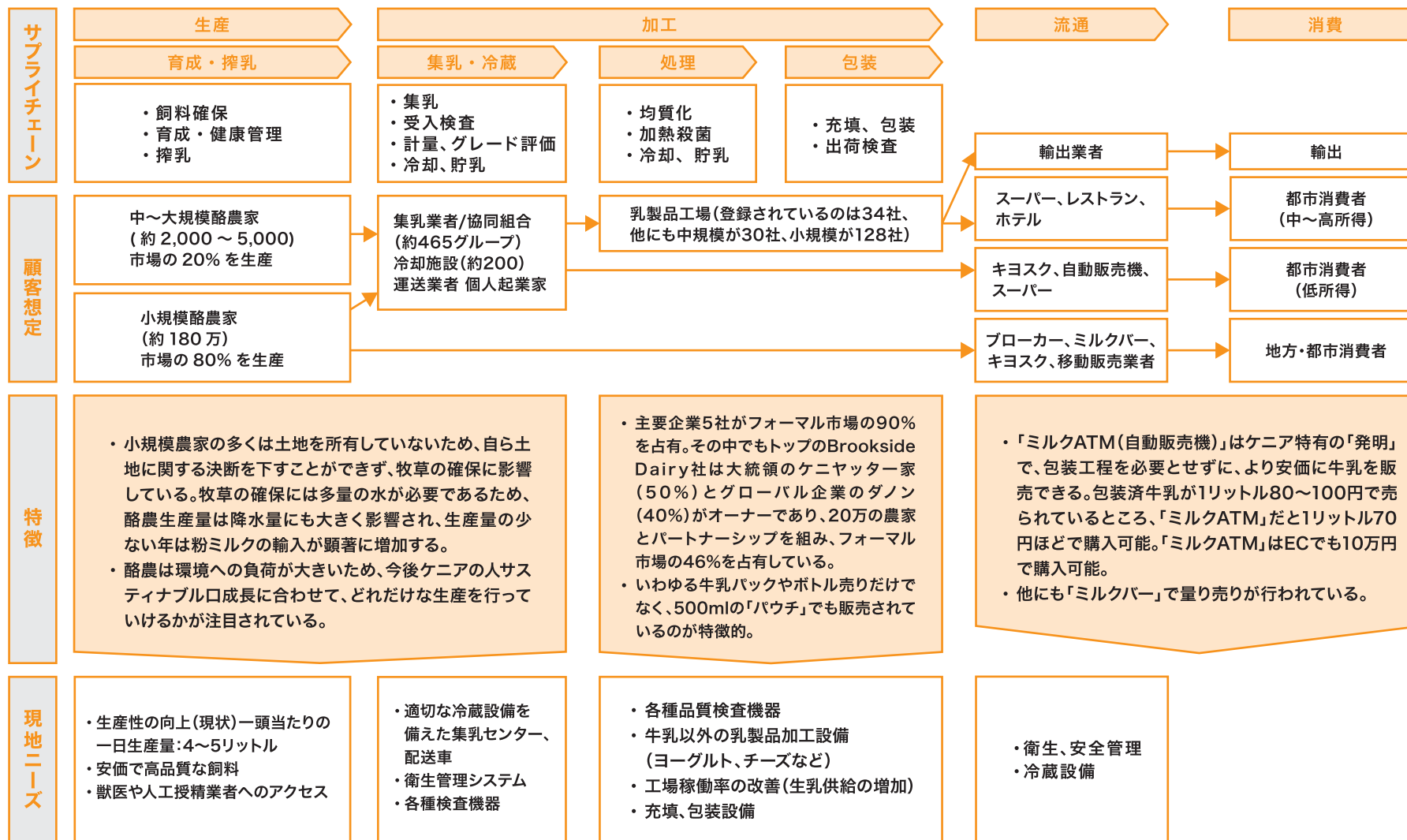
	Unit	2015	2016	2017	2018	2019*
<b>Recorded Milk Production</b>	Mn.Litres	615.9	648.2	535.7	634.3	668.2
<b>Milk Processed</b>						
Milk and cream	Mn.Litres	437.9	448.6	410.6	468.4	491.8
Butter and ghee	Tonnes	1,646.4	1,444.9	1,127.3	1,249.4	1,013.4
Cheese	Tonnes	302.9	311.2	338.3	384.3	305.4
<b>Livestock Slaughtered</b>						
Cattle and Calves	'000 Head	2,274.5	2,460.2	2,590.0	2,781.7	3,080.8
Sheep and Goats	'000 Head	6,560.8	8,220.2	9,206.7	10,247.6	11,302.7
Pigs	'000 Head	282.9	313.6	360.1	388.2	413.5

Source: Kenya National Bureau of Statistics, Kenya Dairy Board, State Department of Livestock

\*Provisional



## 業界構造(バリューチェーン)





## 市場規模

### 乳業市場規模

**1,840億円** (2018)

- ケニアはアフリカでもトップの牛乳消費国であり  
(一人当たり年間消費量: 121リットル)、世界で35位の牛乳生産量を誇る。
- 乳業は、ケニア全体GDPの4%に寄与、  
70万世帯の小規模農家の家計を支えている、非常に重要な産業である。
- 東アフリカ共同体外からの乳製品の輸入には60%の関税がかかるが、  
ケニア政府は2020年にさらに10%の課税を発表。国内乳業を死守している。
- 栄養改善、就学率の改善、小規模農家のマーケットアクセスの向上を目的として、  
酪農庁主導で5つの地域の1,767校を対象に「スクールミルクプログラム」が行われ、  
大手包装会社テトラパックが小規模農家に対する技術指導を行った。



## ニーズが見込まれる製品・サービス(乳業)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
・ 飼料	<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農家</li> <li>組合</li> <li>ディストリビューター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安価な飼料が手に入らず、牧草のみしか与えない小規模農家も多く、栄養不足により、牛の生産性が非常に悪い。(一日4~5リットルの牛乳しか搾乳できないなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購買力はあるが、品質もしくは価格にて圧倒的な価値提示が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵、貯蔵設備</li> <li>配送用コールドチェーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集乳業者</li> <li>組合</li> <li>乳製品工場</li> <li>配送業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な冷蔵設備を備えた集乳センターや配送車が不足しており、インフォーマルセクターでは、コールドチェーンではなく「ウォームチェーン」で流通しているケースが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな設備投資や電気代の支払いをできない業者も多くいるため、ソーラー稼働やファイナンス面でのサービス提供の工夫やなどが必要。</li> </ul>
・ 各種 検査キット	<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農家</li> <li>集乳業者</li> <li>乳製品工場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマルなバリューチェーンにのらず、集乳施設や処理工場を通らない牛乳の安全・品質管理が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型で安価であり、正確性の高い商品であれば購買力あり。</li> </ul>



## パートナーとすべき現地企業の特徴

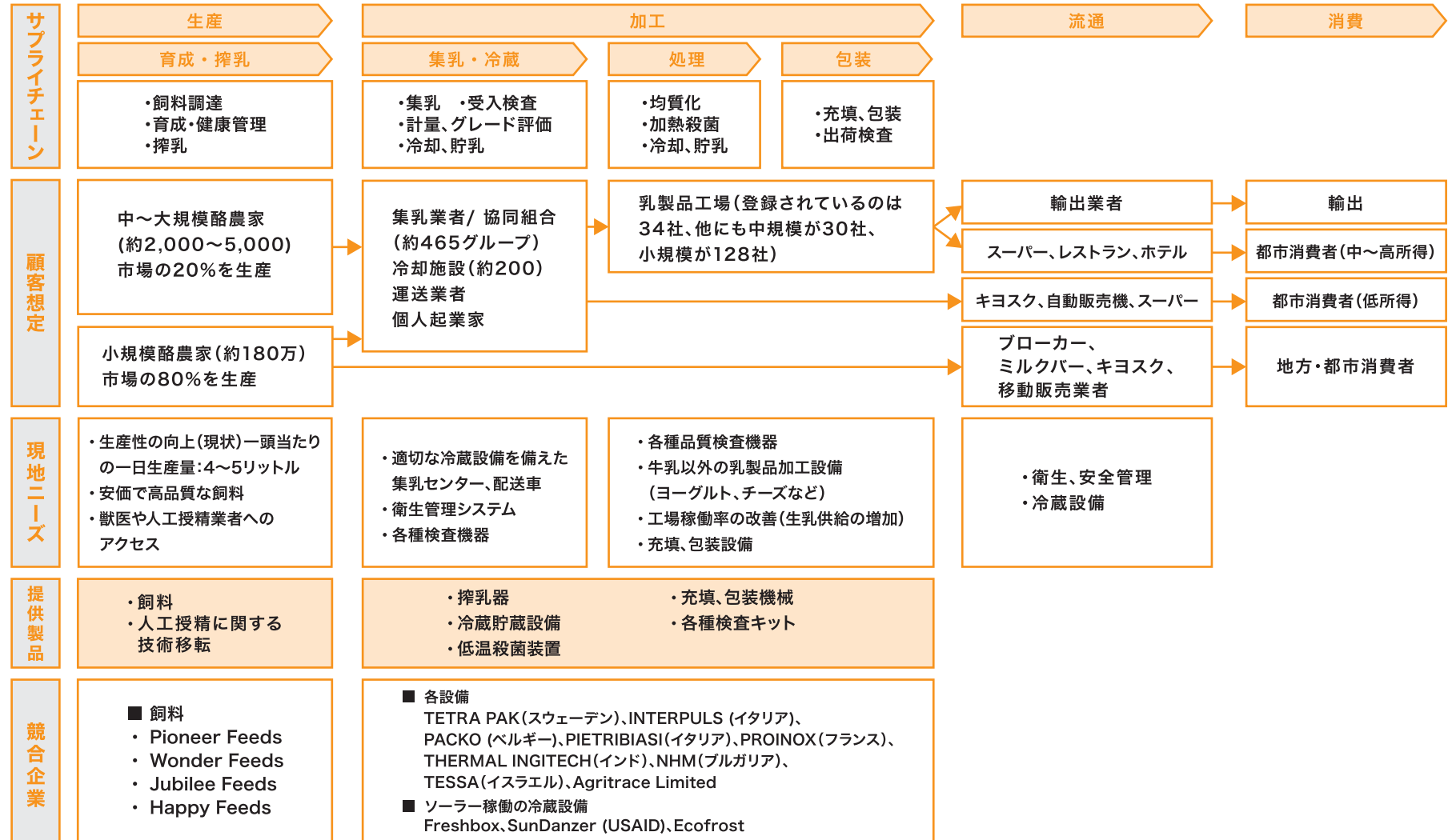
- 市場拡大が確実な市場であると同時に、フォーマルセクターに関しては、トップ3～5社の占有市場であり、またトップ企業はケニヤッタ大統領の一家の会社であるなど、政治関係者の利権が非常に強い市場である。このような大手とうまく連携、もしくは市場供給の80%を占めつつも生産性が非常に低い小規模農家のキャパシティービルディングを行いながら、うまくシステム化・組織化を行っていくのが重要になる。
- 地域ごとに生産法などにも特徴があり、全国的な協会に限らず、各地域の協会との連携も重要になる。

### 主なパートナー候補企業

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイト
ケニア政府酪農庁 (Kenya Dairy Board)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケニア政府農林水産省(MOALF)傘下に1958年設立された規制機関。</li> <li>規制や基準の策定、各種データ収集、各種ライセンス発行、情報提供やトレーニングなどを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パートナー機関も含め、全国各地に26カ所の拠点を置いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各政府機関および民間企業とのネットワーク</li> <li>官民連携</li> <li>情報提供</li> </ul>	Nssf bldg,Block A, Eastern Wing, 10th Floor, Bishop Road,Nairobi Kenya <a href="https://www.kdb.go.ke/">https://www.kdb.go.ke/</a>
ケニア酪農家連合 (KDFP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブルで進歩的な乳業産業の促進を目的とした連合。</li> <li>現在のメンバー組合数は27(農家数:12万5千)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連合でビジネスも行えるよう、Kenya Dairy Farmers Holdings Ltd (KDFH)も立ち上げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模酪農家や組合とのネットワーク</li> <li>情報提供</li> </ul>	Mlango,Along the Eldoret - Kapsabet Highway. Off Biribiriet Dispensary <a href="https://kdff.co.ke/">https://kdff.co.ke/</a>
ケニア家畜生産者協会 (KLPA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー農家数は150万。</li> <li>家畜関連の政策に関するロビー活動。Kenya Private Sector Alliance (KEPSA), Kenya Association of Manufacturers (KAM)など、様々な連合に関連連合にも所属している。</li> <li>情報の収集、整理及び周知を通じた家畜農家の生計の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2004年創立の新しめの協会である。</li> <li>大手通信会社Safaricomと連携して小規模農家向けのデジタルプラットフォームDigifarmを提供しており、130万人の農家が登録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各政府機関および民間企業とのネットワーク</li> <li>情報提供</li> <li>プロジェクト連携</li> </ul>	P.O Box 7816, 00300 Nairobi <a href="https://klpakenya.org/">https://klpakenya.org/</a>



## 乳業における参入可能性



# 3

ティラピア産業





## 概況・特徴(水産セクター)

- ケニアにおける2018年の総漁獲量は約14万トンで、水産分野の2019年のGDPは約4.5億米ドル、産業別GDPの構成比では約0.55%であり、農林水産業分野においても占める割合は小さい(ケニア国家統計局 Economic Survey 2020)。
- 漁業に直接関わっているのは約6万人、加工や漁具などの関連分野も含めると約120万人の雇用を創出している(ケニア国立海洋水産研究所 The status of Kenya Fisheries 2018)。
- 海面、内水面漁業ともに、零細・小規模漁民が大半である。



## 概況・特徴(水産セクター)

- ケニアの水産業は主に内水面漁業で、特にビクトリア湖での漁獲量が全体の80%を占める。ビクトリア湖はケニア、ウガンダ、タンザニアの3カ国にまたがり、それぞれの領域は6%、43%、51%である (FAO Country Report)。近隣国には、ビクトリア湖のほか、アルバート湖、エドワード湖、キブ湖、タンガニーカ湖、マラウイ湖といった大地溝帯の湖(アフリカ大湖沼)がある。
- インド洋に沿って480キロメートルに及ぶ海岸線を有しているが、ビクトリア湖に307の水揚げ場があるのに対して、海岸には141の水揚げ場しかない。豊富な海洋資源に恵まれているが、沖合漁業には大きな投資が必要なため、ケニア漁民・漁業会社による沖合漁業はまれである。



## 業界構造(水産セクター)

- ケニアにおける水産生産量の81%は、内水面漁業によるもので、主な魚種はオメナ(ダガー)、ナイルパーチ、ナイルティラピアなどである。近年は生産量の減少が懸念されている。
- 海産魚の輸出については魚種がはっきりしない。輸出が多いのは、ナイルパーチの切り身(冷凍)、魚の切り身(生鮮、冷蔵)、タコ、輸入が多いのは、冷凍マアジ、冷凍魚、魚肉である。2017年の輸出量合計が0.6万トン程度であるのに対して、輸入量の合計は2.6万トンだが、輸出入額は同程度の2.5千万米ドルである。
- ケニアの海面漁業、内水面漁業ともに、ビーチ管理ユニット(Beach Management Unit:BMU)といわれる漁民や流通関係者からなる組織が水産資源の管理・監視や保護、流通や水揚げ場の開発などを政府や他の開発パートナーと協力して行う役割を担っている。

		魚種	生産量	輸出量	輸入量
水産	海面漁業	フェダイ科	2,228	-	-
		アイゴ科	2,096	-	-
		タコ	1,835	-	-
		フェフキダイ科	1,521	-	-
	海面養殖	海藻(キリンサイ属)	400	-	-
		ミルクフィッシュ	4	-	-
	内水面漁業	オメナ	61,545	-	-
		ナイルパーチ	17,626	1342	738
		ナイルティラピア	8,105	35	477
	内水面養殖	ナイルティラピア	1,503	(上に合算)	(上に合算)
		ナマス	450	13	0
		ニジマス	20	2	0

(出所)FAO STAT



## 業界構造(内水面漁業・養殖)

- ケニアの水産業では、内水面漁業・養殖が全体の80%以上を占め、重要な産業と位置付けられる。
- ビクトリア湖での漁業は、輸出用と国内用に分けられる。輸出用は主にナイルパーチで、加工場に供給され、チルドもしくは冷凍のフィレや浮袋などが輸出される。骨や魚油などの副産物は地元の女性加工業者や商人に売られて揚げ物に加工されて国内に流通している。国内用は、オメナ、ティラピア、ナイルパーチが主で、生鮮もしくは伝統的な手法による日干し、燻製、フライ加工が施されて流通している。資源量の減少とホテイアオイの繁殖による悪影響が懸念されている。一方で、他の湖の資源は十分に活用されていないと考えられている。
- ケニアにおける水産物の一人当たり年間摂取量は4kgで、うち3.3kgは淡水魚である (FAO Stat 2017年)
- ケニア政府の第三次中期計画(MTPIII、2018年~2022年)において観光や貿易なども含むブルーエコノミーの開発として定義し、養殖については官民連携によるバリューチェーンの支援を掲げており、水揚げ場や冷蔵施設、アクセス道路の不足などバリューチェーンの課題への対応が期待される。

### ナイルパーチ:特徴

- 生産量ではオメナに劣るが、単価が高く、浜値で1キログラム当たり約3米ドル(2016年)。冷凍の切り身が輸出されている。
- 漁船は6~12メートルのV字状の船底をした竜骨付きの木造船で、水揚げ場近くで漁をするパドル付きのものと、さらに遠方まで行けるモーターや帆のついたものがある。
- 漁具は刺し網や延縄が主に使われている。

### ティラピア:特徴

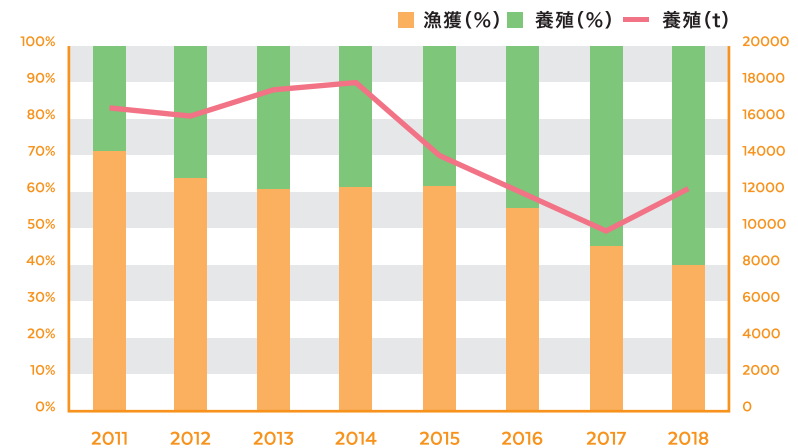
- 漁獲と養殖とも生産量が多い。
- ナイルティラピアとその他のティラピアが流通しており、浜値は1キログラム当たり0.5米ドル~2米ドル(2016年)。
- 国内の水産市場でもっとも好まれている魚種。タンザニア、ウガンダ他、東部、南部アフリカでも広く生産、食用されている。
- ナイルティラピアは海水馴致するので、海面養殖も可能。



## 業界構造(ティラピア産業)

- ティラピアは、オメナとともにケニア国内での需要の大きい魚種であるが、漁獲、養殖ともに生産量が減少している。
- 需要に対して国内供給が不足しているため中国から安価な冷凍ティラピアを輸入しており、国内産ティラピアと価格が競合している。一方で、コールドチェーンの改善により、国内輸送におけるロスを減少させることができると考えられている。
- 2007年以降、内水面養殖生産量の70～80%をティラピアが占めているが、意欲があっても技術支援が受けられずに放棄された養殖池も多い。
- ティラピアの養殖池を操業している女性農家も多く、女性が参画しやすい産業である。

ティラピア漁獲と養殖生産量の割合の推移



価格(浜値)の推移

単位:米ドル(1トンあたり)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016
ナイルパーチ	1,784	1,301	1,772	1,784	1,990	2,748
ティラピア(合算)	1,913	1,786	1,925	1,913	1,817	1,876
ナマズ	1,596	1,453	1,581	1,596	1,514	1,341
オメナ	543	486	487	543	809	831

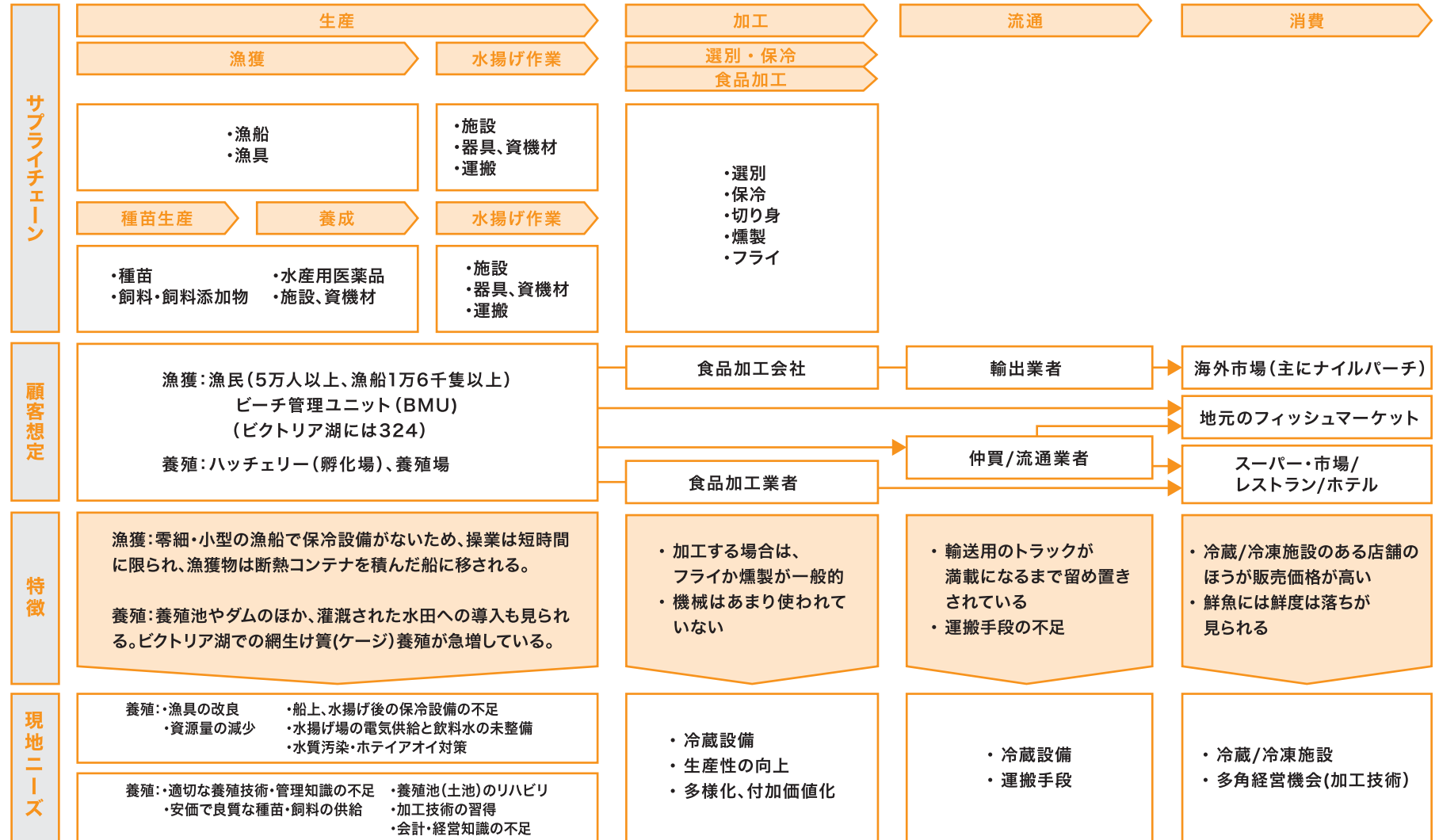
ビクトリア湖の水揚げ場、漁民、漁船数の推移

	2000	2004	2008	2012	2016
水揚げ場	297	304	307	324	338
漁民	38,431	37,348	42,307	40,078	43,799
漁船	11,515	12,284	14,257	13,717	14,365

(出所)FAO Stat、ケニア国立海洋研究所



## 業界構造(バリューチェーン)





## 市場規模

### ケニアの内水面水産規模

**1,4億米ドル** (2016)

- 内水面漁業に携わる漁民は51,000人以上、漁船は16,000隻以上(2016年)
- そのほか、船主、仲買人、加工業者、漁具や漁船の製造者、製氷業者などが業界を構成している
- 現在はそのほとんどがビクトリア湖周辺であり、ケニア最大の面積を誇るトゥルカナ湖の開発は十分でない。
- 養殖農家は約6万人、養殖池は55,000カ所以上(2016年)
- 天然資源が減少していることから、政府は養殖に力を入れている
- 養殖池のリハビリやケージ養殖の導入などの需要がある

### ケニア、ウガンダ、タンザニアの ビクトリア湖における内水面水産規模

**6,5億米ドル** (2015)

- ビクトリア湖で操業している漁民は約22万人(タンザニア50%、ウガンダ30%、ケニア20%)、漁船は約7万4千隻(タンザニア42%、ウガンダ39%、ケニア19%)、船外機は約26,000台(2016年)
- 主に刺し網が使用されており、総数は約250万、延縄漁は適法の大型のフックは200万を下回るのに比べて、違法な小型のフックは急増して約1300万、小規模な地引網は約3万ほど使用されている(2016年)
- 世界の内水面漁獲量に占めるタンザニア、ウガンダ、ケニア3カ国の内水面漁獲量の合計は5%となり、中国、インド、バングラデシュ、ミャンマーに次いでいる。



## ニーズが見込まれる製品・サービス(漁業)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
小型保冷库、 アイスバッテリー	・漁民、船外機の 貸主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船上の保冷設備の不足により長時間の操作ができない</li> <li>・小型の船に載せられる小型サイズで、電源が不要なもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁民は零細・小規模が多いが、船外機の貸主などは購買力有</li> <li>・競合品の価格: ナイジェリアのGricd Frij社携帯・電力自立型冷蔵ボックスは約660ドル</li> </ul>
保冷库、製氷機	・ビーチ管理 ユニット (BMU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水揚げ後の保冷設備の不足によるロスが課題となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の補助金などを利用して購入可能</li> <li>・競合品の価格: FreshBox(ソーラー)約56米ドル ColdHub(ナイジェリア) 28,500米ドル~33,500米ドル</li> </ul>
発電機	・ビーチ管理 ユニット (BMU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水揚げ場の電気供給が未整備であるため、電源を必要とする資機材が使用できない</li> <li>・水質保全の観点から環境にやさしい発電機が望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の補助金などを利用して購入可能</li> <li>・競合品の価格: 小型の国産品(ガソリン使用)90米ドル~</li> </ul>





## ニーズが見込まれる製品・サービス(漁業)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
浄水器	・ビーチ管理 ユニット(BMU)	・水揚げ場の飲料水設備が未整備な ため、衛生や食品加工などに課題 がある	・政府の補助金などを利用して購入可能 ・競合品の価格:タンク式約30米ドル~
流域から流れ込む 生活・産業排水の 浄化技術	・近隣企業、政府、ビク トリア湖漁業協会 (東アフリカ共同体)	・水質の汚染により資源量が減少 している	・流域の排水の水質が規制されれば企業 の購入が期待できる ・競合品: Davis&Shrtliff
ホテアオイ等の 回収・利用	・政府、ビクトリア湖 漁業協会 (東アフリカ共同体)	・ホテアオイの増加により資源量 が減少している	・ビクトリア湖沿岸3カ国での購入が期待 できる



## ニーズが見込まれる製品・サービス(養殖)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
生産・経営管理アプリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハッチェリー(孵化場)</li> <li>養殖農家</li> <li>養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な養殖技術・管理知識の不足によるロス及び生産コスト削減</li> <li>会計・経営知識が不足しているため、経費の記録・分析支援が必要</li> <li>将来的には産直や養殖魚のトレーサビリティシステムとして利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハッチェリーや養殖業者はある程度の購買力があるが、農家は年に数百円程度。必要な機能は異なるため、機能ごとに課金することで購買力の有無に対応できる</li> <li>林業ではKomazaという管理プラットフォームがある</li> <li>競合品の価格:Nile bot(エジプト:養殖業の計測装置と観測・管理アプリ)装置とアプリで1000~1500米ドル</li> </ul>
小型建機のレンタル、中古建機の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>養殖農家</li> <li>養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存池の漏水対策や深さの確保、拡張、廃棄された池の再開などのため、養殖池(土池)のリハビリが必要になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>養殖業者では可能。個々の養殖農家では難しいが、ある程度、同じ地域に固まっているため、共同でならば可能と考える</li> <li>競合品の価格:22トンの掘削機1時間55米ドル</li> </ul>



## ニーズが見込まれる製品・サービス(養殖)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
簡易の加工機械、 パッケージング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖農家</li> <li>・養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品はフライか燻製が一般的</li> <li>・ロス削減と経営多角化</li> <li>・簡易の加工を行うことで付加価値をつけることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者では可能。個々の養殖農家では難しいが、ある程度、同じ地域に固まっているため、共同でならば可能と考える</li> <li>・ドイツ、スイス、インド等の企業が「食品加工・パッケージエキスポ」に出展</li> <li>・競合品の価格： 6リットルの業務用フライヤー約50米ドル</li> </ul>
衛生設備・機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖農家</li> <li>・養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易の加工を行う際に品質保持のため衛生設備・機器が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者では可能。個々の養殖農家では難しいが、ある程度、同じ地域に固まっているため、共同でならば可能と考える</li> <li>・ドイツ、スイス、インド等の企業が「食品加工・パッケージエキスポ」に出展</li> <li>・総合的な施設管理・食品衛生分野における製品やサービスを提供する米系企業のDiversey社が進出</li> </ul>



## ニーズが見込まれる製品・サービス(加工、流通)

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
加工機械の導入	・ 加工業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のフライや燻製は小規模の手作業が主であり多くの量をさばけないのが課題</li> <li>それ以外の加工法による多様化と付加価値化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者の規模に応じて購入可能</li> <li>ドイツ、スイス、インド等の企業が「食品加工・パッケージエキスポ」に出展</li> <li>競合品の価格： 6リットルの業務用フライヤー約50米ドル</li> </ul>
パッケージング	・ 加工業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工法に合わせた衛生的で保存のきくパッケージングによる付加価値化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者の規模に応じて購入可能</li> <li>ドイツ、スイス、インド等の企業が「食品加工・パッケージエキスポ」に出展</li> <li>包装機械のディーラーの例： Kadolta Packaging Ltd (<a href="https://www.kadoltapack.com/">https://www.kadoltapack.com/</a>)</li> </ul>
冷蔵機能付き車両、 車両用冷蔵装置	・ 養殖業者、 加工業者、 輸送業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送用のトラックが満載になるまで留め置きされており、鮮度を保った輸送が課題</li> <li>eコマースやスーパーなどから配送・宅配業参入も急増している(Jumiaなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>養殖業者や加工業者は小型のもの、輸送業者は規模に応じて購入可能</li> <li>競合品の価格： 一般的なクーラーボックス40リットル約90米ドル、Grid Frij社携帯型温度・位置測定器(Frij Mote)(ナイジェリア)約90米ドル</li> </ul>



## パートナーとすべき現地企業の特徴

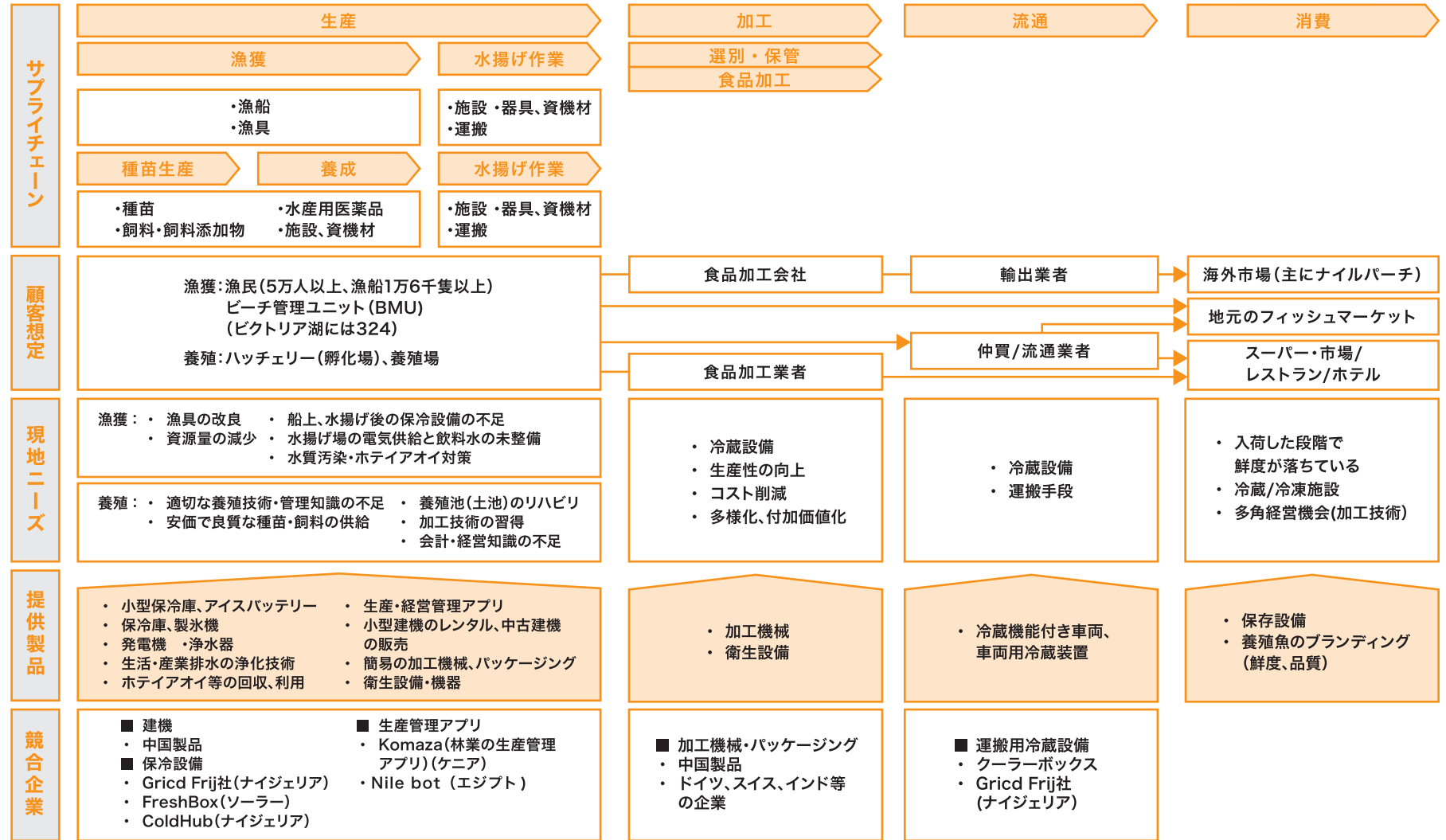
### 特徴

- ビーチ管理ユニット (BMU) は、小規模だが多数の販売が見込める。
- 養殖池に使用するシート (ライナー) や浮き餌を作れる業者 (3社) は、近隣国にはないものなので、提携すれば近隣国への進出にもつなげられる。

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイトなど
ビーチ管理ユニット (BMU)	水産資源の管理・監視や保護、流通や水揚げ場の開発などを政府や他の開発パートナーと協力して実施	漁民や流通関係者からなる組織。各水揚げ場にある。	漁民とのネットワーク	水産局が管轄
Jewlet Enterprises	浮き餌の製造販売	ケニアの国内メーカー 月40トン 顧客1000人	養殖農家とのネットワーク	<a href="http://www.jewlet.com/">http://www.jewlet.com/</a>
Sigma Ltd	浮き餌の製造販売	ケニアの国内メーカー 月72トン	養殖農家とのネットワーク	<a href="https://www.facebook.com/sigmafeeds/">https://www.facebook.com/sigmafeeds/</a> +254 721 560251
Unga Feeds Ltd	浮き餌の製造販売 (Unga groupでは他に小麦粉製粉と栄養食品を製造)	ケニアの国内メーカー 顧客200人以上 月50トン	養殖農家とのネットワーク	<a href="https://unga-group.com/">https://unga-group.com/</a>
Mwea Aqua Fish Farm	浮き餌の輸入販売 養殖用資機材の販売、研修	海外飼料輸入販売 (Aller Aquafeeds:デンマーク)	養殖農家とのネットワーク 輸入ノウハウ	<a href="https://mweafish.com/">https://mweafish.com/</a>
Jambo Fish Western Ltd.	浮き餌の輸入販売 養殖用資機材の販売、研修	海外飼料輸入販売 (Skreting fish feeds:オランダ) Fleuren & Nooijen BVの出資		<a href="https://www.facebook.com/JamboFishKenya/">https://www.facebook.com/JamboFishKenya/</a>



## ティラピア漁獲・養殖業における参入可能性





## 参入事例(進出済み)

会社名	セクター	概要・特徴	製品・サービス	進出形態	所在地/ウェブサイト
豊田通商	物流	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費財メーカーやeコマース業者などの配送ニーズと、登録しているバイクやトラックを保有する個人配送業者をつなぐ</li> <li>荷主と配送業者間の配送ルートや価格などの交渉を簡素化し、物流の効率化とコスト削減</li> <li>貨物の配送・納品状況をリアルタイムに追跡し、物流の透明性と安全性を向上</li> </ul>	物流デジタルプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケニアを中心とした東アフリカで物流デジタルプラットフォームサービスを展開するSendy Limitedに出資</li> <li>太陽光発電に出資</li> </ul>	<a href="https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/200204_004552.html">https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/200204_004552.html</a>
TDK	電気・電子・情報機器		電源、コンバーター等の販売	販売代理店	<a href="https://www.jp.tdk.com/corp/ja/index.htm">https://www.jp.tdk.com/corp/ja/index.htm</a>
イシダ	その他機械	食品工場用機械の販売		支店	<a href="https://www.ishida.co.jp/ww/jp/">https://www.ishida.co.jp/ww/jp/</a>
クボタ	その他機械	農機、エンジン、建機の販売		現地法人	<a href="https://www.kubota.co.jp/">https://www.kubota.co.jp/</a>
コベルコ	その他機械	油圧ショベル、クレーンの販売		販売代理店	<a href="https://www.kobelco-kenki.co.jp/">https://www.kobelco-kenki.co.jp/</a>
小松製作所	その他機械	建設・鉱山機械の販売・サービス		支店	<a href="https://home.komatsu.jp/">https://home.komatsu.jp/</a>
寺岡精工	その他機械	電子はかり、電子計量値付システム、自動計量包装値付機等の販売		販売代理店	<a href="https://www.teraokaseiko.com/jp/">https://www.teraokaseiko.com/jp/</a>
トヨタミ	その他機械	調理用ストーブの販売		その他	<a href="http://www.toyotomi.jp/">http://www.toyotomi.jp/</a>
レオン自動機	その他機械	クッキー、パン、ホットドッグ製造機などの食品自動成型機を販売		その他	<a href="https://www.rheon.com/jp/">https://www.rheon.com/jp/</a>



## 参入事例(進出済み)

会社名	セクター	概要・特徴	製品・サービス	進出形態	所在地/ウェブサイト
スズキ	自動車	船外機の販売		販売代理店	<a href="https://www.suzuki.co.jp/">https://www.suzuki.co.jp/</a>
ダイキアキス	化学	浄化槽、水処理機器の販売		合併会社	<a href="http://www.daiki-axis.com/">http://www.daiki-axis.com/</a>
関西ペイント	化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料の販売</li> <li>日本では高度排水処理用微生物個体化担体も提供</li> </ul>	塗料の販売	現地法人、工場	<a href="https://www.kansai.co.jp/">https://www.kansai.co.jp/</a> <a href="https://plascon.com/">https://plascon.com/</a>
DIC	化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料の販売(パッケージング)</li> </ul>		子会社の米 Sun Chemical社が 現地法人	<a href="https://www.dic-global.com/ja/">https://www.dic-global.com/ja/</a>
味の素	食品・飲料	うま味調味料や加工食品の製造・販売		駐在員事務所、 製造・販売拠点	<a href="https://www.ajinomoto.co.jp/">https://www.ajinomoto.co.jp/</a>
キッコーマン	食品・飲料	醤油の販売		その他	<a href="https://www.kikkoman.com/jp/index.html">https://www.kikkoman.com/jp/index.html</a>
オーガニック・ソリューションズ・ジャパン	農林水産	農業堆肥用、 消臭・廃水処理用の微生物の販売		現地法人	東京都千代田区 四番町9番地10パークコート 四番町1003号
株式会社SENRI (旧アフリカイン キューベーター)	情報・通信・ コンテンツ	流通管理アプリ・システムの開発・販売	営業・受発注管理 プラットフォーム『SENRI』	現地子会社	<a href="https://senriltd.com/">https://senriltd.com/</a> 、 <a href="https://afri-inc.com/">https://afri-inc.com/</a>
Kai Global	その他	スーパー等での鮮魚販売		起業	<a href="https://www.kai.co.ke/">https://www.kai.co.ke/</a>





## 参考情報:ケニアの食文化



**ウガリ**

特徴:メイズ(トウモロコシ)やキャッサバの粉を湯で練り上げて作る食品。ケニアを始めとした東アフリカ諸国にて主食である。



**ピラウ**

特徴:米を肉(牛・鳥等)や野菜、スパイスと一緒に炊いた、ピラフのような料理。



**チャパティ**

特徴:小麦粉を練って作った生地を鉄板で薄く焼いたパン。インドからの移民の影響で普及した。



**ギゼリ**

特徴:豆とメイズ(トウモロコシ)を煮込んだシンプルなシチュー。野菜や肉が加えられる場合もある。



**カチュンバリ**

特徴:トマトを赤タマネギ、コリアンダーと共に和えたサラダ。肉料理(ニヤマチョマ)の付け合わせとしてもよく用いられる。



**サマキ**

特徴:スワヒリ語でサマキは「魚」を意味し、魚料理全般がサマキと呼ばれる。主に素揚げと煮込み料理の2種類に分かれる。



**オメナ**

特徴:ヴィクトリア湖で採れる小魚の淡水魚で、乾燥した状態でスープの具材等にして食される。



**ニヤマチョマ**

特徴:ヤギ等の肉をローストした料理。スワヒリ語でニヤマは「肉」、チョマは「焼く」を意味する。

(出所)写真は横山裕司

**発行者：アイ・シー・ネット株式会社**

**総責任者：井上真**

**全体管理：松本幸敏、山崎晃子、太田みなみ、淵上雄貴**

**調査担当：(アフリカ農水産品・食品関連)横山裕司(リーダー)、東枝里子、薄葉葵、菊池靖子、宮川歩、古市信吾**

**お問い合わせ：Business\_Consulting@icnet.co.jp**

**デザイン：株式会社ツープラトン**

本レポートは、出所を記載した二次資料及び当社による現地ヒアリング結果に基づき、有益だと判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。